

(様式第4号)

上田市図書館協議会 会議概要

1 審議会名	上田市図書館協議会
2 日時	令和7年5月28日(水) 午後6時30分から午後8時30分まで
3 会場	上田駅前ビルパレオ 2階会議室
4 出席者	中村会長、内山副会長、荒木委員、北沢委員、甲田委員、小林委員、西山委員、丸山委員
5 市側出席者	金田上田図書館長、中村上田情報ライブラリー館長、井澤上田図書館係長、赤地上田図書館係長、和田上田情報ライブラリー次長、藤森丸子図書館次長、菊地真田図書館次長
6 公開・非公開	☒ 公開 ・ ☐ 一部公開 ・ ☐ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年5月28日

協 議 事 項 等

1 開 会

2 上田図書館長あいさつ

・図書館協議会では、上田市全体の図書館サービスについて、御意見をいただいている。市内には古い図書館もあり、時代の変化に追いついていない部分もあるが、皆様の御意見をいただいて、サービスに生かしていきたい。本日は令和6年度の事業報告と令和7年度事業計画の審議をお願いします。また第三次上田市図書館基本構想については、本日は事務局から諮問させていただき、策定の進め方などについて説明し、次回以降、具体的な審議をお願いしたい。

3 委嘱状の交付

上田図書館長から、委員に委嘱状交付

4 自己紹介

委員、職員から自己紹介

5 会長、副会長の選出

互選により、会長に中村委員、副会長に内山委員を選出

6 会長、副会長あいさつ

会長

・今回で3期目となる。よろしくお願いいたします。

副会長

・会長を助け、この役を務めたい。

7 上田市図書館協議会の任務について

事務局から資料1「上田市図書館協議会の任務について」に基づき説明。

(1)上田市の図書館について

- ・ 上田市には現在、上田図書館、丸子図書館、真田図書館、上田情報ライブラリーの4つの図書館がある。最も古いのは旧上田市の上田図書館(大正12年に開館)で、昭和45年に移転改築し、現在にいたっている。
- ・ 平成11年には、千曲川左岸地域の図書室として、上田創造館図書室が開館し、平成16年に上田駅前ビルパレオ(このビル)の4階に、上田情報ライブラリーが開館した。さらに、平成18年の市町村合併を経て、平成22年に真田図書館が開館、平成24年には旧丸子町の金子図書館を引き継ぐ形で丸子図書館が開館した。令和3年の武石地域自治センターの改築を機に武石公民館図書室が新しい図書室として生まれ変わっている。
- ・ 上田市内の図書館は、近隣自治体などの図書館と「エコール」というネットワークで結ばれており、市町村の枠を超えて、地域住民の皆さんに図書館サービスを提供している。

(2)上田市図書館協議会について

- ・ 図書館法及び上田市図書館条例により、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕に図書館長に対して意見を述べる機関として、上田市図書館協議会を置いている。

(3)今後の日程について

- ・ 今年度は、第三次上田市図書館基本構想の策定の年度であり、協議会は本日を含めて4回開催したい。
- ・ 日程は、本日と、6月26日(木)、7月17日(木)、8月7日(木)を予定している。

8 協議事項

(1)令和6年度事業実績報告について(資料2)

資料2に基づき事務局から報告

上田図書館

- ・音訳ボランティア養成講座、音訳のための基礎講座、子どもの読書講座上田社会教育大学連携講座などを開催した。また、郷土資料デジタルアーカイブ化事業として「上田郷友会月報」「郷友信濃」のデジタルデータ化した。
- ・移動図書館車「やまびこ号」更新した。新図書館車のデザインにあたっては、市内高校生の協力を得た。

上田情報ライブラリー

- ・上田情報ライブラリー開館20周年記念事業として、NPO法人上田図書館倶楽部との共催による朗読会、上田市多文化共生推進協会との共催によるおはなし会、「こころ」と頭の実用セミナー特別公開講座などを開催した。
- ・住民票の発行など証明書交付は2,315通となった。

丸子図書館

- ・読書講座「紫式部日記」、近世文書講習会などを実施した。
- ・図書館まつりを開催し、ハロウィンかぼちゃ作り、ぬいぐるみおとまり会などを実施した。

真田図書館

- ・地域の自然や文化、歴史など素材にした講座『真田塾』を開催した。
- ・真田図書館コンサートとして、ヴァイオリンコンサートを実施した。
- ・図書館まつりを開催し本のリサイクル市やおはなし広場、腹話術、折り紙教室を開催した。
- ・運営にあたっては、真田図書館サポーターの会の協力を得て、連携して実施した。

質疑応答は以下のとおり

委員

各館の事業の実績について説明いただいた。各館でそれぞれ事業を実施していることは理解できたが、図書館全体としての取組目的、また目的に照らして結果に対する受け止めはどうか。

事務局

例えば、上田図書館については、音読ボランティアなど、ボランティア養成講座に力を入れており、その他の図書館でも、それぞれの館の特色を活せるように、取り組みをしている。

実績報告だけでは、各館の力の入れ方がわかりづらく申し訳ない。報告の仕方を工夫したい。

委員

それぞれの図書館に特色のある事業があり、伝統、歴史に支えられた取組を行っていることがわかった。

上田情報ライブラリーの事業実績の中に「業務の委託」とあり、図書の修理などを行っている。ほかの図書館には業務委託の記載はなく、上田情報ライブラリーだけあるのはなぜか。また、図書の修理は、ほかの図書館ではボランティアが行っているように見受けられるが、上田情報ライブラリーだけ業務委託であるのはなぜか。

事務局

上田情報ライブラリーは暮らしとビジネス支援を基本コンセプトとして運営している。

運営の一環として、市民団体と協働して図書館を盛り上げていただき、各種事業を実施している。協働の中心となるのが、NPO 法人上田図書館倶楽部であり、本の修理は当該法人に業務委託をしている。

委員

その団体は、ほかの3館については関わっていないのか。

事務局

基本的には、上田情報ライブラリーで活動しているが、上田図書館においても、貴重資料の整理を委託している。

(2)令和7年度事業計画について(資料3)

資料3に基づき事務局から報告

- ・市内4館で共通の柱に沿って事業を実施するが、枠組みの中で、各館の特色を活かした事業を行っていく。
- ・基本的なサービスとして、資料の収集整理保存、各種講座、児童向けのサービスなどを着実に実施していく。
- ・今年度の重点的なとりくみとして、第三次上田市図書館基本構想の策定、上田図書館整備計画の策定の推進、第三次上田市子ども読書推進計画の策定準備を掲げた。
- ・上田図書館については、昭和45年に建設されて以降、50年以上が経過しており、老朽化・狭隘化が進んでいる。この建て替えは大きな課題となっており、整備に向けて取り組んでいく必要があるが、市町村財政が大変厳しい中、具体的な内容や期限を提示して整備を進めるといった段階には至っていない。
- ・上田地域図書館情報ネットワーク(エコール)のシステム更新を予定している。機器の入れ替えを12月から来年1

月にかけて行う予定である。

質疑応答は以下の通り

委員

丸子図書館について、事業計画「その他」に「学校連携事業の開催」とある。これは新規事業か。また具体的な内容は何か。

事務局

上田短期大学には、例年開催している10月の図書館まつりというイベントにおいて、学生に協力していただいている。丸子修学館高校は、おはなし会で、生徒にボランティア活動をしていただいている。

委員

各図書館で、新規に取り組む事業は何か。

事務局

上田図書館では、貴重資料である花月文庫のデジタルアーカイブ化に取り組む。一部は令和6年度から取り組んでいたが、外部団体との協力により、内容を充実させる。

丸子図書館、真田図書館は、基本的に例年と同じ事業だが、令和7年度は館内照明のLED 工事を行う。

事務局

上田情報ライブラリーは千曲川流域文化の創造と発信の取り組みとして、生態学者で水辺環境の専門家である信州大学繊維学部元教授の故桜井善雄氏から寄贈をいただいた「桜井文庫」を広く市民に知っていただくため、8月30日に催しを開催する予定である。

また、以前から取り組んでいた本を紹介しあう講座「ビブリオバトル」について、回数の増加や、子ども対象に開催するなど、充実させる。

ビジネス支援については、上田商工会議所と連携して夜間ビジネス相談会を開催したり、ビジネスブック展示紹介を開催したりするなどして、充実させる。

(3)その他

委員

図書館は、読みたい本、読みたい雑誌、欲しい情報があることが、その図書館へ行くインセンティブとなる。自分がよく行く図書館ではない市内の他館へ、たまに行くと、そこに自分の興味を引くものがある。各図書館で蔵書の傾向や違いがあるようだ。各館で新しく資料を購入する際の方針の違いはあるのか。

事務局

上田市の図書館全体として、基本的な資料収集方針を定めている。それに加えて、各館で選書の方針に特徴を持たせており、それにより図書館の特色を出している。例えば、上田図書館は、参考資料、郷土資料、貴重資料など、丸子図書館は闘病記、蚕糸業やワインなど、真田図書館は自然やスポーツ、真田氏など、上田情報ライブラリー

は暮らしとビジネス支援などである。

委員

ある図書館に全ての人が満足できるわけではないと思う。ただ、その図書館を利用する人の要望と館の本の選び方のマッチングを図るようなこと、例えばアンケートをとるとか、どんな本を買ってほしいかを要望を聞くなどの取り組みについては、どう考えるか。

事務局

個々の本、具体的な図書の希望がある場合、図書館にリクエストの申込をしていただくと、その本を図書館で購入できるかどうかを検討させていただいている。おっしゃるような形でのアンケートの予定はないが、利用者からの御希望は、今申し上げたような形でお聞きしている。

委員

図書館側が揃える本と、利用者の要望のミスマッチを少なくしてほしい。

図書館の運営の中でも選書は特に難しいと感じており、色々な観点が必要で、特定の意見だけに左右されないことも大切である。しかし、ある図書館を使っている者が、その図書館で「もうちょっと、こういった分野の本を読みたいが、その図書館にはない」というようなことが減っていくような対策をとっていただけたらと思う。

委員

新たに本を購入する際の、各館での選書の決定プロセスはどのようになっているか。

また図書館の司書の人数(上田市だけでなく全国的な傾向等)はわかるのか。

事務局

館ごとに、選書会議を開いて購入している。選書会議は司書資格を持つ職員が中心となって運営している。

各館の司書資格者数については、「日本の図書館」という統計資料に記載されている。

9 第三次上田市図書館基本構想について

(1) 諮問書の交付

- ・上田図書館長から、会長・副会長に委嘱状を交付

(2) 第三次上田市図書館基本構想の策定方法について

(3) 上田市の図書館の現状と課題について

(2)(3)を一括して、資料 A、B、C、D に基づき、事務局から説明

- ・図書館基本構想は、社会教育法、図書館法、図書館の設置及び運営上の望ましい基準、上田市総合計画、教育大綱、生涯学習基本構想、教育支援プラン等を考慮した上で策定する。
- ・これまで上田市では、第一次構想、第二次構想と、2度にわたり策定をした。
- ・第一次構想においては、主に真田図書館、丸子図書館の建設や、図書館の運営形態について協議し、第二次構

想においては、4館体制を踏まえての市全体の図書館サービスのあり方などを主な論点とした。

- ・計画の策定方法については、まず図書館協議会は、本日諮問を受けて素案を協議し、図書館に対して答申する。次に、図書館協議会から答申のあった素案を、社会教育委員会に諮問し、協議する。さらに、社会教育委員会から答申のあった成案を、教育委員会、庁議等の承認を得て、市として決定して公表する。このようなプロセスを経て策定していきたい。
- ・第三次上田市図書館基本構想の論点としては、図書館利用者の減少、上田図書館の老朽化と建て替え、などがあげられる。今回の計画で目指すことは、市民にとって利用しやすい図書館づくり、また、その考え方にもとづく、上田図書館の整備の基本的な方向性の検討である。

質疑応答は以下のとおり

委員

生涯学習に関する市民意識調査を読むと、図書館を利用しない理由として、「利用する機会がない」「利用する目的・理由がない」といった回答が多い。他方で、図書館にどのようなことを期待するかとの質問には、「図書資料の種類や量の充実」が最多となっている。

この結果を読んで、図書をたくさん揃えれば利用が増える、という風にとらえてほしくない。

これは、図書館をもともと利用している人たちが、図書の充実を要望していると考えるべきであって、そもそも行く理由を感じない人にとっては、図書を充実させても、利用するきっかけにはなりにくいと思う。

知る権利を保障する、情報へのアクセスを保障することが大切で、普段は利用していないとしても、知りたいと思ったときに、情報にアクセスできる手段としての図書館、そういった存在としての図書館を改めて認識してほしい。

事務局

市民意識調査に回答した方は、もともと生涯学習や図書館に関心ある方が多いと推測でき、それらを踏まえた上で、結果を読み取っていきたい。

委員

資料C「第三次上田市図書館基本構想の論点について」の「1上田市の図書館の現状と課題について」の「(1) 図書館利用者の状況(貸出密度)」に、貸出密度から導かれる結論として「上田市民の図書館利用者は多くない」とあるが、貸出密度だけで、図書館利用者の多い少ないと、結論付けることはできないのではないかな。

長期的な推移をみると、丸子図書館や真田図書館の貸出冊数は増加傾向、反対に上田図書館・上田情報ライブラリーは減少傾向と見える。こういった傾向をどうとらえるか。地域コミュニティの形成にも関わる大切な課題である。(本を借りなくても)行事で来る、イベントで来る。そういう方が本に関心を持つ、といった面も重要である。

事務局

ご指摘のとおり直接導かれるわけではないが、貸出密度が低いことから、少なくとも全体的な利用が低調であると推測でき、その結果として、利用者は多くないのではないかと結論付けた。正確な表現を考えたい。

10 その他

特になし

11 閉会